

平成 29 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

「ものづくり」を通じた教育を念頭に置き、全ての教育活動において以下のことを実践し、地域に信頼され、生徒が誇りをもって卒業できる学校をめざす。

1. 生徒一人ひとりの総合的な人間力の充実が図られており、大きく変化する社会の中で自立して力強く生きる生徒が育っている。
2. 自信を持ち、自ら変革を起こせる生徒、自ら新しいことに粘り強く果敢にチャレンジする生徒が育っている。
3. 実践的な教育内容の充実を図ることにより、各種検定試験合格、各種資格取得、各種コンテスト及び各種競技会に積極的に取り組む生徒が育っている。

2 中期的目標

1 確かな学力を育成する学校

(1)基礎・基本の学力を定着させ、より専門性の高い技術・技能の習得をめざす。

- ア 公開授業や研究授業を積極的に推進するとともに、授業アンケートを活用した授業改善に取り組む。
- イ 少人数展開の授業や実習内容の充実を図るとともに、ICT機器を活用して「わかる授業」「考えさせる授業」を展開する。
- ウ 信頼関係に基づいた生活指導を充実させ、個々の生徒の実態に応じた指導を実践し、コミュニケーション力やプレゼンテーション力を育成する。
*生徒向け学校教育自己診断の「授業はわかりやすく行われている」肯定率（平成28年度1年生70.5%）を毎年5%以上引き上げ、平成31年度に85%を達成する。
*生徒向け学校教育自己診断の「先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる」肯定率（平成28年度1年生70%）を毎年5%以上引き上げ、平成31年度に85%を達成する。

(2)各種検定試験の合格や資格取得、各種コンテスト応募や競技会等の出場を積極的に指導していく。

*卒業までに3つ以上の検定試験合格・資格取得をめざす。

2 豊かな心をはぐくみ夢と志を持つ生徒を育成する学校

(1)生徒との信頼関係を基本として毅然とした生活指導を行い、問題行動の未然防止や再履修生徒数や転・退学生徒数の減少に努める。

- ア 挨拶指導・遅刻防止指導・携帯電話指導・校内美化指導・通学時の自転車マナー指導を徹底する。
*平成31年度には遅刻生徒数を平成28年度（6803人）の30%減を目標とする。
*平成31年度には再履修生徒数、転退学生徒数共に平成28年度（再履修生徒数23人、転退学生徒数74人）の30%減を目標とする。

(2)人権教育を推進し、社会人に相応しい人格と態度を養う。

- ア 発達段階に応じた人権教育と、学年別人権教育の充実を図る。
*生徒向け学校教育自己診断の「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」肯定率（平成28年度67.2%）を毎年5%以上引き上げ、平成31年度に80%を達成する。

(3)生徒の自己実現への支援に努める。

- ア 教育相談体制の充実に向け、分掌・学年・系・教科の連携を深める。
*生徒向け学校教育自己診断の「担任以外にも気軽に相談できる先生がいる」肯定率（平成28年度62.3%）を毎年5%以上引き上げ、平成31年度に80%を達成する。
- イ キャリア教育の充実に努め、インターンシップの実参加者数（平成28年度125人）、毎年100人以上を達成する。
*生徒向け学校教育自己診断の「将来の進路や生き方について考える機会がある」肯定率（平成28年度73.2%）を毎年5%以上引き上げ、平成31年度には90%を達成する。
- ウ 就職率100%を堅持するとともに、公務員や大学進学を希望する生徒が100%合格できるように指導の充実を図る。また、離職率調査を実施し、進路指導に活かすとともに、3年以内の離職率20%未満をめざす。

(4)読書活動を推進し、生徒に読書の大切さを指導する。

- ア 授業での図書館利用を推進する。
- イ 図書館の開館時間を確保し、図書の貸し出し数を増やす取組みを行う。

3 安全安心で魅力ある学校

(1)生徒会活動、部活動の活性化を推進する。

- ア 学校説明会、体験入学等の学校行事に生徒が主体的かつ積極的に関わるように指導していく。生徒が主体の朝の挨拶運動を継続的に実施できるように指導する。
- イ 部活動の活性化に向けた取組みを積極的に推進する。 *部活動の加入率を毎年5%増加させ、平成31年度には50%以上にする。

(2)年2回の公開授業を継続するとともに、PTA活動や学校協議会等の一層の充実を図る。

- *保護者向け学校教育自己診断の「この学校の学校行事（体育祭・文化祭・授業参観等）に参加したことがある」肯定率（平成28年度51.8%）を平成31年度までに65%に引き上げ、これを維持する。
- *保護者向け学校教育自己診断の「学校では、PTA活動は活発である」肯定率（平成28年度61.9%）を平成31年度までに75%に引き上げ、これを維持する。
- *保護者向け学校教育自己診断の「学校は、教育情報について提供の努力をしている」肯定率（平成28年度80.0%）を維持する。

(3)生徒に対する防災教育を推進し、大規模災害を想定した防災マニュアルの更なる見直しを進めていく。

- *生徒向け学校教育自己診断の「学校で、事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動したらよいか。知らされている」肯定率（平成28年度72.7%）を平成31年度には75%以上とする。

(4)各種のイベントに積極的に生徒が関わるように指導する。

- ア 大阪府産業教育フェア、西淀川ものづくりまつり、大正ものづくりフェスタ、地元商店街等と連携したイベント等への積極的な参画を推進する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成29年11月実施分]	学校協議会からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・「授業がわかりやすく行われている」74% (+8pt) 学校全体での授業改善の取組みやICT機器の活用などが評価されている。 ・「担任以外にも気軽に相談できる先生がいる」69% (+7pt) 改善されているが、生徒の状況を考慮すると更なる組織的な取組みが必要。 ・「将来の進路や生き方について考える機会がある」80% (+7pt) 進路指導やキャリア教育の取組みが評価されている。離職率の低下を求める。 保護者の満足度も高いので、広報に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> (第1回 5月26日) ・組織的な基礎学力向上、挨拶・遅刻指導、美化推進など取組みの成果を感じる。継続して欲しい。 (第2回 10月6日) ・授業は落ち着きがありICTの活用も評価できる、広めて欲しい。一方通行形式の講義は要改善。 (第3回 2月7日) ・学校は良くなっている。魅力を中学校に発信したり、地域との連携の取組みをする。 ・保護者が学校の様子を知る機会や情報提供をして、理解や協力を受けることができるように。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標〔28年度数値〕	自己評価（●は1/31現在未集計）
1 確かな学力を育成する学校	<p>(1)基礎学力の定着</p> <p>ア 授業アンケート、公開授業及び研究授業の活用。</p> <p>イ 「わかる授業」「考えさせる授業」を展開するための教員研修の実施。</p> <p>ウ コミュニケーション力の育成を図り、プレゼンテーション力を培う。</p> <p>エ 1年生の基礎学力向上への取組を推進する。</p> <p>(2)資格取得等の推進</p> <p>資格取得や各種検定試験やコンテストへの積極的な参加をすすめる。</p>	<p>ア 公開授業・研究授業の実施 校内授業公開月間を設定し、専門以外の授業も見学して授業改善に取り組む。</p> <p>イ 教員研修の実施 初任者及び2年目、10年経験者研修等を活用した教員研修を行う。</p> <p>ウ 課題研究発表大会の活用 各系において課題研究発表大会を実施し、下級生の意識を高める。</p> <p>エ 指導計画に基づいた指導の徹底</p> <p>オ 各系、教科等で取得可能な資格を積極的に推進 資格取得情報を学校HP及び学校掲示板へも随時更新していく。</p>	<p>ア 一人が1回以上他教科の授業見学を実施する。</p> <p>イ 各系、教科等で公開授業を実施し、授業改善を進める。</p> <p>ウ 2年生の課題研究発表大会のアンケート結果の肯定的意見を70%にする。〔59.4%〕</p> <p>エ 1年生の生徒向け学校教育自己診断の「授業はわかりやすく行われている」を75%にする。〔70.5%〕</p> <p>オ 資格取得等の合格者数 600名〔566〕、コンテスト参加者数 220名〔198〕をめざす。</p>	<p>(ア) 公開授業期間を2回設定した。授業見学の実施率は85% (Δ)。次年度も2回設定し、組織的な授業改善に取り組む。</p> <p>(イ) 初任、2年目、10年目の教員による公開研究授業を実施し好評であった (○)。系などの組織による取組体制を次年度は確立させる。</p> <p>(ウ) 課題研究発表会 (2/9実施) の肯定意見は65%であった (Δ)。準備段階から組織的になっている、さらに課題研究の内容改善に取り組む。</p> <p>(エ) 72.9%と目標以下であったがICT機器の活用やIT授業、キャリアガイダンスなどの取組みは評価された (Δ)。学校全体で向上している。</p> <p>(オ) ジュニアマイスター顕彰ゴールド2名、シルバー8名と過去最高の成果を出せた (◎)。資格取得等の合格者は500名、コンテスト入賞5名、参加数125名と減少したが、顕著な成果を出した生徒がでたことは評価できる (Δ)。</p>
2 豊かな心をはぐくみ夢と志を持つ生徒を育成する学校	<p>(1)信頼関係を基本とした生活指導の取組み</p> <p>ア 挨拶運動・遅刻防止指導を推進する。</p> <p>イ 校内美化運動や登下校時の自転車運転の安全意識の向上を図る。</p> <p>(2)発達段階に応じた人権教育と、学年別人権教育の充実</p> <p>(3)キャリア教育の充実</p> <p>(4)教育相談体制の充実</p> <p>(5)読書活動の推進</p>	<p>ア 遅刻防止指導の徹底 遅刻者に対する特別指導（早朝登校指導等）を徹底する。</p> <p>イ 交通安全教育の実施及び自転車運転のマナー向上の指導を徹底する。</p> <p>ウ 廊下等の美化意識向上に努める。</p> <p>エ 充実した人権ホームルーム 人権教育推進委員会と連携して、計画的に実施する。</p> <p>オ インターンシップ等の活性化 企業連携実習や地域連携事業の充実を図る。</p> <p>カ 教育相談室の活用推進 広報誌「マインド」の定期的な発行で生徒の意識を高める。</p> <p>キ 図書館の積極的な活用推進 新着本の案内等で、教職員や生徒の図書館活用の意識を高める。</p>	<p>ア 遅刻生徒数〔6803人〕、再履修生徒数〔5人〕、転退学者数〔78人〕15%減を目標とする。</p> <p>イ 生徒向け学校教育自己診断の「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」〔67.2%〕を5%引き上げる。</p> <p>ウ 生徒向け学校教育自己診断で学校の美化の取組みへの肯定的回答が60%。〔新規〕</p> <p>オ インターンシップの実参加者数125人〔125〕を目標とする。生徒向け学校教育自己診断「将来の進路や生き方について考える機会がある」〔73.2%〕を5%引き上げる。</p> <p>カ 生徒向け学校教育自己診断「担任以外にも気軽に相談できる先生がいる」〔62.3%〕を5%引き上げる。</p> <p>キ 図書通信の発行と生徒向けの本の貸出冊数を100冊以上に増加させる。〔96冊〕</p>	<p>(ア) 遅刻生徒数5422人と20%減になった (◎)。再履修生10人、転・退学者数67人となり、目標を達成できなかった (Δ)。</p> <p>(イ) 多彩な研修を実施し、77%となり目標は達成できた (◎)。今後も、多様な事案などへ対応するため、研修を計画的に取組んでいく。</p> <p>(ウ) 67%と目標は達成できた (◎)。次年度は、職業人育成のために、学校をあげて5Sに取組み、さらなる向上を目標とする。</p> <p>(エ)</p> <p>(オ) インターンシップ等 (3月分実施有) への参加生徒数は104人であった (Δ)。進路指導やキャリア教育の取組みは80%が肯定的であった。特に保護者からは進路指導に対して90%以上が肯定的に評価されている (◎)。</p> <p>(カ) 68.7%となり目標は達成できた (○)。生徒の状況を考えるとこの目標達成だけでなく、組織的な取組みをすすめていく必要がある。</p> <p>(キ) 貸し出し冊数は49冊であった (Δ)。数値があまりにも低く、今後は、授業などで組織的に図書館利用を進めるべきである。</p>
3 安全安心で魅力ある学校	<p>(1)生徒活動の活性化</p> <p>ア 学校行事等に主体的に生徒が関わるよう支援をする。</p> <p>イ 部活動が活性化するように学校全体で取り組む。</p> <p>(2)開かれた学校づくり</p> <p>授業公開を行うなど、PTA活動や学校協議会等の充実を推進する。</p> <p>(3)防災教育の推進</p> <p>避難訓練や研修を通して防災意識を高める。</p> <p>(4)外部イベントへの積極的な参加</p>	<p>ア 体験入学や学校説明会等に主体的に生徒が取り組む学校行事の企画</p> <p>イ 部活動の加入率向上、活動の活性化を推進</p> <p>ウ 公開授業の実施やHPでの発信により学校の教育活動を積極的に情報発信 中学校訪問を実施し、本校の特色ある教育活動をアピールする。</p> <p>エ 防災研修等を通して防災意識を高め、地震や津波、火災を想定した避難訓練を実施</p> <p>オ 各種の外部のイベントに積極的に参加する等、ものづくり教育の充実を図る</p>	<p>ア 体験入学や学校説明会に関わる生徒数20名をめざす。〔10名〕</p> <p>イ 部活動の加入率を45%に引き上げる。〔38%〕</p> <p>ウ ・保護者向け学校教育自己診断の「①この学校の学校行事（体育祭・文化祭・授業参観等）に参加したことがある」を10%引き上げる。〔51.8%〕 ・「②学校では、PTA活動は活発である」を5%引き上げる。〔61.9%〕 ・全教職員が中学校訪問を実施することをめざす。</p> <p>エ 生徒向け学校教育自己診断の「学校で、事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動したらよいか。知らされている」肯定率を75%以上に引き上げる。〔72.7%〕</p> <p>オ 各種イベント等の外部発表の機会を12回に増やす。〔10回〕</p>	<p>(ア) 参加した生徒は20名であった (○)。生徒の成長が見られる取組みなので、積極的に取り組む。</p> <p>(イ) 加入率は44%。学校全体として活性化がみられ部活動の雰囲気は好転している (○)。</p> <p>(ウ) ①51.5%と②64.2%となり、目標を達成できなかった。他校を参考に工夫した活動をする。メルマガやHPの更新回数は増えているので、よい傾向と思われる (Δ)。 ・広報活動のため、全教員で中学訪問を実施した。体験入学・学校説明会への参加中学生は計372人（約2倍）と大幅に増加し、最大の懸案事項に対して成果を出せた。今後の継続的に取組み、志願増に結び付けたい (◎)。</p> <p>(エ) 80.6%。授業への参加姿勢が良くなっていることから避難訓練等もよくなったと外部から評価を受けている (◎)。</p> <p>(オ) 外部発表の機会は12回で67人あった。実習などで外部との交流・参加が増加しているため、今後の目標設定としたい (○)。</p>